



真鶴中学校だより 第二六二号

## 鶴からの手紙

2024  
4.12  
責任者  
市川 麻美

### 『令和六年度、スタートしました!』

四月五日、三十六名の新入生と、着任した教職員とともに、令和六年度が明るくスタートしました。

今年度も「安心」「安全」「明るく楽しく元気な」学校を全職員で運営して参りたいと思っております。保護者・地域の皆様のご理解とご協力をどうぞ引き続きよろしくお願いいたします。

始業式では、大きくリリしくなった二、三年生の姿、式中の「礼」の素晴らしかったこと、式でも話しました。学校の「顔」「柱」としての自覚が感じられました。

入学式では、新入生の元気な「ハイ」の返事と、笑顔いっぱい語る「誓いの言葉」に、希望と力を感じました。

昨年度、生徒会を中心に工夫してきた「新しい真中スタイル」を踏まえ、さらに生徒主体で新しい学校生活を充実させられるよう取り組んでいきたいと思ひます。卒業した先輩たちに胸

を張って見せられるような学校に、皆で協力していきましょう。

### 『二・三年生の抱負』

始業式で、二年生と三年生の代表生徒が、それぞれ年度始の抱負を発表しました。

#### 【二年生代表】

中学校二学年に向けて僕が必要だと思ったことは、話す・聞くの切り替えです。

前年度の振り返りでもこのことについて話をしました。僕は学年委員としてこの課題に取り組みましたが、結果として一年生の最後の最後まで、先生が話をしているのにも関わらず、周りの友達と話をしている人がいました。原因は二つあると思ひます。

一つは「話を聞かなきゃ」という意識が、ついていないことです。もう一つは、元

気が有り余っている点です。「元気が有り余っている」、これをそのまま捉えると、全然良いことだと思います。ただ、その元気のせいで「うるさい」に繋がってしまふのは違う気がします。元気の使い方次第では、授業を楽しく盛り上げたり、大会に向けて部活を頑張ることだってできます。また、僕としては、受験を頑張る先輩たちや、この中学校に来てくれた後輩たち、僕たちのために授業をしてくれる先生たちに、「元気をあげる使い方」ができるようになりたいです。

そして一つ目の、「話を聞く意識の低さ」、これは委員会活動や生徒委員会で何度も出した話題です。ですが、結果として話を聞けていない状況が続いています。今思い返してみると、行った取り組みは、「呼びかけ」ばかりで他の具体的な取り組みはしっかりしたことがないことに気がつきました。次の学年委員会では、呼びかけ以外にもっと具体的で効果的な対策を見つけて実施してほしいです。

さて、二年生からは本格的に将来につながる成績が出るようになります。二年生全員が、将来を本気で考え、今を全力で過ごせるようにしていきたいです。

二年一組 青木 虎太郎

#### 【三年生代表】

「先輩」という言葉に憧れを持って、いた一年生の頃の私が、ついに今日、先輩という名前を背負ったことになりました。実感はまだわいていませんが、自分の三年生の姿を想像すると、恥ずかしいようで不安も喜びも感じます。

私が三年生で目標にしている事は三つあります。一つはこれまで以上に勉強に力を入れることです。受験生になった私たちは将来につながる受験への明確な目標を立てていきたいと思ひます。また、受験までの道のりでたくさんの方の力が必要になると思ひますが、それを当たり前だと思



わず、日々感謝の気持ちを持ってこの一年間を過ごしていこうと思います。

二つ目は学校行事に参加する姿勢です。今までの私たちは後輩として引つ張ってもらい、先輩方のかっこいい背中を色んな場面で見てきました。その姿をゴールとし、二年後期、私たちクラスの目標であった「ひまわり」という目標には、三年生を太陽とし、ひまわりのように太陽に向かってまっすぐ伸びていくという思いが込められていました。今度は私たちが太陽となり、一年生や二年生の憧れの存在になりたいと思います。

最後三つ目は最高の卒業式をクラスで創り上げることです。先日、三年生の卒業式は、三年生全員が一つになり、三年間の思い出が全て表現された式でした。次、私たちがそこに立った時を想像すると、まだまだやりきれないことがたくさんあります。なのでやり残すことがなくくらい楽しみたいです。そしてクラス一丸となり、支え合いながらたくさんの方に挑戦していきたいと思っています。また卒業まで、今まで以上にみんなが楽しくクラスに通える学年にし、笑顔で卒業できるよう、助け合っていきたいです。

三年一組 関 風

## 「新入生からのことば」

入学式や対面式では、新入生の代表の生徒が話をしてくれました。その態度や言葉からは、中学校生活に向けての期待と決意が伝わってきました。

### 『入学式のことば』

桜の花びらが舞う、暖かい季節とともに、新生活が始まります。新しい生活を迎えようとしている私たちは、ドキドキ、ワクワクした気持ちで今日、真鶴中学校に入学します。私達は、気持ちを入れ替えて、小学校での生活を活かしていきたいと思っています。



僕は、中学校での運動会を楽しみにしています。小学校では、運動会実行委員をやっていたので、中学校での運動会はどうな感じなのか、ものすごく楽しみです。中学校は小学校とは違う、楽しさ、大変さがあると思います。それを思うと不安がないとは言いいけません。ですが、学習発表会で先輩方が全力で楽しんでいる笑顔や、ウインタースクールで部活動をしている様子を見て、この中学校での生活が楽しみでなりません。

これからはじまる中学校での三年間いろいろなことがあると思います。ですが、みんなで支え合い、勉強や部活動を楽しみ、一步一步立派な中学校になれるように頑張っていきたいと思っています。先生方、先輩方、保護者の方々、これからよろしく願います。

一年一組 鈴木 凜也

### 『対面式のことば』

私たちは、四月五日に入学式を無事に終え、真鶴中学校の生徒になることができました。

私は、中学校で楽しみにしていることがあります。それは、中学校にいる二年生、三年生との交流です。部活動やいろいろなイベントで交流することによって仲を深め、友達を増やすことができるからです。



ですが、私たちは中学校のことはほとんどわかりませんので、二年生、三年生の先輩方、私たちに学習面、部活動、生活面などを教えてくださるとうれしいです。

私たちは、これからの中学校生活を笑顔で過ごし、たくさんの思い出を作ることができるよう頑張りたいと思います。どうぞよろしく願います。

一年一組 青木 万莉

皆さんそれぞれが、新しい始まりへの決意を持っていると思います。それを忘れずに、充実した一年にしていきたいと思います！

〈教頭 川崎〉